

## 令和6年度 修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る 日本学生支援機構第一種奨学金 採用時返還免除内定制度 申込案内

### 【本制度の概要】

修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）進学時に、貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除を内定する制度です。

次代の科学技術イノベーションや地域を担う優秀な低所得世帯の学部生等に対して、修士課程等への修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています。

（参考：日本学生支援機構 HP）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

### 【本制度の対象】

令和6年度に修士課程又は専門職学位課程へ進学し、第一種奨学金の貸与を受ける予定で、以下のいずれも該当する者。（留学生は除く。外国籍の学生の場合は「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」等のみが対象。）

1. 学部において日本学生支援機構給付奨学金を利用していること（資産理由、自己都合の停止は可、所得理由の停止は不可）又は住民税非課税世帯（本人及び生計維持者の市町村民税所得割額が0円）であること。
2. 「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」への進学を希望していること。
3. 将来、上記2に記載の特定分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動することができる者と認められる者。

※2. の分野については、本学大学院の以下に示す研究科とします。

科学技術イノベーション創出に寄与する分野 (情報・AI、量子、マテリアル等)	大学の強みや地域の強み等を生かした分野
理工学研究科（理学系、工学系）、 有機材料システム研究科	社会文化創造研究科、医学系研究科、 農学研究科、理工学研究科（理学系、工学系）、 有機材料システム研究科

### 【推薦枠数】

若干名

※専門職学位課程（教育実践研究科）は、今年度の本内定制度の推薦枠はありません。

### 【手続きの流れ】

1. 申込書類一式の提出（**学生**→大学）
2. スカラネット入力用ID・パスワードの伝達（大学→**学生**）
3. スカラネット入力による申込（**学生**）
4. 選考及び推薦（大学→JASSO）
5. 採用結果の通知（JASSO→大学→**学生**）※2024年7月下旬予定

## 【申込期間】

指導教員と相談し、推薦を希望する場合は、申請期間内に進学先の所属キャンパスの担当窓口へ原則持参にて申込書類を提出し、スカラネットへの入力を行ってください。

(1ページ【手続きの流れ】1、3)

### 期限厳守

1. 申込書類一式の提出 : **令和6(2024)年1月17日(水)~1月26日(金)必着**
3. スカラネット入力による申込 : **~1月31日(水)まで**

## 【申込書類】

以下の申込書類を上記申込期間内に提出してください。

**全員提出** (学生番号は、申請日時点の学生番号を記入してください。)

- ・ 修士課程等進学予定者採用時返還免除内定制度【確認書】(様式1)  
※「修士課程等進学予定者採用時返還免除内定制度【確認書】」は、パソコン入力により作成してください。
- ・ スカラネット入力下書き用紙のコピー  
(記入済みの下書き用紙をA4コピーしたもの。A4両面印刷、白黒・カラーいずれも可)
- ・ 申請日時点で取得できる最新の成績証明書(原本)

### 併せて、次の2つのうちいずれかを必ず提出

#### 【日本学生支援機構給付奨学金に採用されている方】

- ・ 最新の支援区分が確認できるスカラネットパーソナルのスクリーンショット等を印刷したもの(A4、白黒・カラーいずれも可)  
※2023年10月以降、家計基準で停止中(支援対象外)の方は、併せて次の[住民税非課税世帯の方]に記載の書類も提出してください。

#### 【住民税非課税世帯の方(日本学生支援機構給付奨学金に採用されていない方)】

- ・ 本人及び生計維持者の令和5年度所得・課税証明書(原本)  
(住民税所得割額が全員0円の場合、申請可能です。)

(提出先)

進学後の 所属キャンパス	担当窓口
小白川キャンパス	エンロールメント・マネジメント部学生支援課学生支援担当(奨学) ※学生センター内(023-628-4139)
飯田キャンパス	医学部学務課学生支援担当(023-628-5176)
米沢キャンパス	工学部学務課学生支援担当(0238-26-3017)
鶴岡キャンパス	農学部学務課奨学担当(0235-28-2804)

## 【注意事項】

- ・ 修士課程等において貸与を受けた第一種奨学金が返還免除対象となります。
- ・ **本制度への申請とは別に、予約採用または進学後の春の在学採用で第一種奨学金の申請を行う必要があります。**
- ・ 研究科として推薦の可否を決定した後、大学として推薦の可否を決定します。その後、

日本学生支援機構が返還免除内定候補者として内定を決定します。

- ・返還免除内定候補者として採用されたことをもって、返還免除が確定するわけではありません。貸与終了時に改めて「特に優れた業績による返還免除」への申請が必要です。最終的に免除となる場合でも、現時点で免除額はわかりません。
- ・返還免除内定候補者に採用された場合、中間評価があり内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します。学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります。
- ・今回の返還免除内定候補者に採用されなかったとしても、貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除」に申請することが可能です。